被災された研究者･学生等の受入･研究支援等に関する情報（2011.4.7版）

大学・研究機関名称	研究科・講座等	支援内容の概要について	ウェブサイト	支援に関する連絡先	その他
北見工業大学		情報処理センターの利用 図書館の利用	http://www.kitami-it.ac.jp/public_relations/shinsai_index.html		
北海道大学	触媒化学研究センター	計画停電等も含めて震災の影響で研究に支障がある研究者に対して，センター教員を研究分担者とする共同研究を公募（1件15～30万円/10～20件程度）．当面の申込締切は4月8日（金）で，申請状況によりその後も受付．詳細は，ウェブサイトをご覧ください．	http://www.cat.hokudai.ac.jp/h23_shien.html	k-kenkyo@jimu.hokudai.ac.jp	センター教員が研究分担者になる共同研究であれば，触媒に直接関係しない研究内容でも構いません．センター所有設備は無料で使用できます．学内の他設備についても無料になる見通しです．研究経費としては，研究者や大学院生の滞在費を想定しています．北海道大学触媒化学研究センターは触媒化学に関する共同利用・共同研究拠点であり，通常の共同研究申請も受けつけています．
	遺伝子病制御研究所	「緊急の共同研究」の募集・・・研究室が被災し、研究の遂行に支障をきたした研究者（研究分担者としての大学院生を含む）に、北海道大学遺伝子病制御研究所にて研究の場を提供。北海道大学遺伝子病制御研究所までの往復旅費及び宿泊費を本学旅費規則に基づいて支給。	http://www.igm.hokudai.ac.jp/201104kyoudou.html		
	低温科学研究所	「緊急の共同研究」の募集・・・研究室が被災し、研究の遂行に支障をきたした研究者（研究分担者としての大学院生を含む）に、北海道大学低温科学研究所にて研究の場を提供。北海道大学低温科学研究所までの往復旅費を本学旅費規則に基づいて支給。 雪氷試料や生物試料など低温室で無料預かり	http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/		
	附属図書館	北海道に帰省された東北大学はじめ被災地の大学の学生・教職員の方は、本学附属図書館（本館・北図書館・各部局図書室）をご利用いただけます。	http://www.lib.hokudai.ac.jp/modules/tinyd11/index.php?id=24		
	情報基盤センター	情報環境の利用	http://www.hokudai.ac.jp/eq/iic.html		
埼玉大学		１．被災学生（大学院生を含む）の講義の履修について 被災大学に在籍している学生で、避難先、帰省先等が埼玉大学の近辺である学生が、本学の授業を履修することなどに対して、支援を行います。 ２．被災大学院生の研究支援について 被災大学に在籍している大学院生で、避難先、帰省先等が埼玉大学の近辺である大学院生に対し、本学が研究指導を行うことなどに対して、支援を行います。	http://www.saitama-u.ac.jp/announce/20110404-4.html		
千葉大学	附属図書館	被災地の大学等にご所属の方は、一般の利用者として千葉大学附属図書館を利用できます。	http://www.ll.chiba-u.jp/news/news20110324.html		
筑波大学	菅平高原実験センター	･被災された学生または研究者が対象。合計18名程度。 ･最大で8名が同室で宿泊。 ･受け入れ期間は4月5日以降、原則として2011年6月26日まで。 ･宿泊費･施設利用費 無料。 ･研究スペース提供。各種研究設備もご利用になれます。 ･連絡先等の必要情報をメールまたはファックスすることで申し込み。	http://www.sugadaira.tsukuba.ac.jp/event/e_110404.html	電話 0268-74-2002 ファックス 0268-74-2016 電子メール ukeire@sugadaira.tsukuba.ac.jp	
横浜国立大学		１．附属図書館の利用・インターネット使用への便宜 ２．講義を履修したり、勉学を行う事などに対応して、その支援 ３．被災地域の大学において甚大な被害を受け、研究環境の再構築が長期にわたって困難な研究者に対して、研究スペースの提供や研究機器の共用等の可能な支援、宿泊施設等の準備	http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/2665/detail.html		

名古屋大学	環境学研究科	・図書館利用 ・大学院生および研究員の、研究室受け入れ	http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/pub/20110324.pdf	名古屋大学大学院環境学研究科 庶務掛　kan-syo(at)post.jimu.nagoya-u.ac.jp	名古屋大学環境学研究科は、文理融合型の学際的な研究科です。詳細はウェブサイト<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/>をご覧ください。 ご相談は、環境学研究科庶務掛か、本研究科の教員に直接ご連絡ください。
岐阜大学	図書館	･館内資料の閲覧 ･館内施設の利用 ･館内資料の文献複写 ･インターネット接続可能なPCの利用（本館のみ） ･一般図書の貸出（利用者カードを発行いたします）（本館のみ）	http://www1.gifu-u.ac.jp/~gulib/index.html		
金沢大学	がん進展制御研究所	「共同研究（被災研究者支援）」の募集	http://www.kanazawa-u.ac.jp/~ganken/co/boshu2.html		
	総合メディア基盤センター	金沢大学ネットワークサービスの提供	http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/announce/announce_201103241812.pdf		
	附属図書館	金沢大学附属図書館（中央図書館・自然科学系図書館，医学系分館，保健学類図書室）の利用	http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/news/2011/0322.html		
信州大学	附属図書館	東北・関東地方を中心に地震被害にあわれた大学の学生・教職員の方を対象に、当面の間、本学の構成員と同等のサービスを利用できるようにいたします。	http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/information/2011/03/earthquake-sufferers.html		
富山大学	総合情報基盤センター	情報システム（端末室、インターネット等）の利用	http://www.itc.u-toyama.ac.jp/news/110329/index.html		
	附属図書館	図書館 のサービスの利用	http://www.lib.u-toyama.ac.jp/libnews/110318_news.html		
豊橋技術科学大学	附属図書館	図書館の利用	http://www.tut.ac.jp/info/tosho-riyo-0322.html		
長岡技術科学大学	附属図書館	図書館の利用	http://lib.nagaokaut.ac.jp/		
名古屋工業大学		図書館サービスの提供	http://www.nitech.ac.jp/other/anti_disaster_08.html		
名古屋大学	附属図書館	図書館の利用	http://info.nul.nagoya-u.ac.jp/news/centrallib/2010/110316/view?set_language=ja		
福井大学	附属図書館	総合図書館及び医学図書館で本学学生と同等のサービスが利用可能	http://www.u-fukui.ac.jp/touhoku/index.html		
北陸先端科学技術大学院大学		講義の履修、聴講及び研究支援	http://www.jaist.ac.jp/news/update/2011/post-9.html	教育支援課教務係 Tel：0761-51-1936，1939 Fax：0761-51-1959 E-mail：kyoumu@jaist.ac.jp	
	図書館機構	入館カードの発行（京都大学の学部生に準じる蔵書の貸出・閲覧・複写サービス）。 電子ジャーナル閲覧用IDの発行（リモートアクセス可）。	http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/article.php?storyid=795	情報サービス課資料運用掛 Tel: 075-753-2632, 2641 E-mail: unyou*kulib.kyoto-u.ac.jp	閉架図書も閲覧・貸出できるが、入庫は不明
	理学研究科	被害に遭われた研究者・大学院生の方々を支援する目的で、理学研究科の研究環境の提供。	http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=703	京都大学理学研究科　総務掛 電話番号：075-753-3600 FAX番号： 075-753-3645　E-mail：somu(at)office.sci.kyoto-u.ac.jp	

京都大学	基礎物理学研究所	今回の大地震に伴う災害で、多くの方がお亡くなりになられたことに対しお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様をはじめ、避難生活を余儀なくされておられます皆様に、心からお見舞いを申し上げます。 京都大学基礎物理学研究所では、研究が困難になった研究機関の研究者（大学院生を含む）の方々の受け入れが可能です。デスクスペース、インターネット環境、図書館等が利用可能です。 滞在希望の方は、当研究所で最も関連があると思われる所員までご連絡下さい。 京大周辺の宿泊施設に関しては、4月は観光シーズンで、さらに、地震の影響で関西方面の宿泊施設が非常に込み合ってきていることにご注意下さい。 基礎物理学研究所には、従来より、研究所滞在プログラムとして、アトム型研究員、GCOEビジター、ビジター制度、があります。今回の災害に関係した滞在希望に対しても、これらの制度を流用することとします。旅費・滞在費のサポート希望に応じてプログラムをお選びの上、以下のウェブページの案内にしたがって応募書類を提出下さい。 （旅費・滞在費不要の場合は、ビジター制度にご応募下さい） http://www.yukawa.kyoto-u.ac.jp/contents/kyoudou/visit.html アトム型については来所予定の2ヶ月前が、GCOEビジター、ビジター制度は、1ヶ月前が、それぞれ応募締め切りとなっておりますが、今回の災害に関連した申請については、応募締め切りは特に設けず、また採否決定もできるだけ早く行うように致します。 その場合は、それぞれの申請書類の「研究テーマの内容」欄に被災状況、旅費の要不要等など研究上の困難についても記述するようお願い致します。		プロジェクトマネージャー 藤田 裕子 E-mail: fujita_{AT}_yukawa.kyoto-u.ac.jp	
		東日本大震災で被災された大学等への支援【宿舎提供のお知らせ】 2011年3月24日(木) 学外 このたびの東日本大震災で被害を受けた大学等に対する支援の一環として、被災した大学に所属する方々を対象に本学の宿泊施設を提供します。 ＊対象者： 大学、高等専門学校および国公立研究機関ならびにこれらに準ずる機関に所属される方々（学部生、大学院生、研究員、教職員等） ＊宿泊料： 当面無償（光熱水料等も本学が負担させていただきます。）	http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2011/03/20110324_02	担当窓口： 大阪大学本部事務機構　施設部企画課 メール：hinoki-s@office.osaka-u.ac.jp （まずはメールにてご相談下さい）	
	生命機能研究科	東北関東大震災によって被災された大学等に所属する方々（大学院生、研究員、教員等）を本研究科の適切な研究室で受け入れ、教育研究活動の支援にあたる体制を用意	http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/		
	理学研究科・理学部	大阪大学附属図書館、理学部情報資料室の利用 大学院生，研究員，教員の適切な研究室での受け入れ	http://www.sci.osaka-u.ac.jp/content0416.html		

大阪大学	微生物病研究所（微生物病共同研究拠点） 産業科学研究所（物質・デバイス領域共同研究拠点） 蛋白質研究所（蛋白質共同利用・共同研究拠点） 社会経済研究所（行動経済学研究拠点） 接合科学研究所（接合科学共同利用・共同研究拠点） 核物理研究センター（サブアトミック科学研究拠点） サイバーメディアセンター（学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点） レーザーエネルギー学研究センター（レーザーエネルギー学先端研究拠点）	共同利用・共同研究等の実施のために研究者の受入や研究スペースの提供など	http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/info/earthquake/gakujutsukikoukaigi		
神戸大学	経営学研究科	このたびの東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に対し心からお見舞い申し上げます。 今回の震災に被災された方々に対する支援の一環として，当研究科は，被災された東北3県（岩手県，宮城県，福島県）に所在する大学において研究に従事されている方々に対し，経営学研究科研究員として，無給ではありますが，研究環境を御使用いただけるようにすることにいたしました。 資格：今回の研究員となることが出来る者は次の各号すべてに該当する者とします。 １．岩手県，宮城県，福島県のいずれかに所在する大学において研究に従事する者 ２．大学院博士課程（後期課程）を修了した者 ３．経営学研究科の専任教員から受け入れ教員となる承諾を得ている者 申請に際しましては http://www.b.kobe-u.ac.jp/info/news/2011/03/researcher.pdf をご覧の上，お申し込みください.	http://www.b.kobe-u.ac.jp/info/news/2011/03/post_126.html		
愛媛大学		（1）被災学生・大学院生の講義の履修 （2）被災大学院生の研究支援（被災大学院生の特別研究学生としての受け入れ） （3）研究者の支援（研究スペースの提供や愛媛大学が有する研究用機器の利用等可能な支援） （4）宿舎の確保（学生宿舎を無償貸与）	http://www.ehime-u.ac.jp/news_important/detail.html?new_rec=7995		
高知大学		研究スペースの利用 図書館の利用、インターネット使用 研究スペース利用に伴う宿泊施設の利用	http://www.kochi-u.ac.jp/JA/news/110325hisai.htm		
島根大学		図書館の利用	http://www.shimane-u.ac.jp/docs/2011033100139/		
徳島大学		（１）被災学生・大学院生の講義の履修、聴講 （２）被災大学院生の研究支援（特別研究学生としての受け入れ） （３）その他	http://www.tokushima-u.ac.jp/docs/2011040100016/		
鳥取大学		図書館の利用	http://www.lib.tottori-u.ac.jp/news/2011/20110318.htm		

広島大学		図書館の利用 情報端末・情報コンセントの一部利用	http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/news_events/2010nendo/tohokujishin/		
山口大学		１　被災学生・大学院生の講義の履修、聴講 ２　被災大学院生の研究支援 ３　研究者の支援（研究スペースの提供等） ４　図書館の利用 ５　その他（住居，生活等勉学に関わることなど）	http://www.yamaguchi-u.ac.jp/page.php/index/page/id/1410		
大分大学		図書館の利用	http://www.lib.oita-u.ac.jp/news_arch/2010/news_0318.html		
九州工業大学		（1）学部生及び大学院生の授業科目の履修 （2）大学院生の研究支援（特別研究学生としての受け入れ） （3）研究者の研究支援（研究スペース・研究装置等の利用可能な支援活動）	http://www.kyutech.ac.jp/info/id607.html		
九州大学	附属図書館	図書館の利用	http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/general/news_20110314.html		
	生体防御医学研究所	「共同研究（被災研究者支援）」の募集（1)ゲノミクス・エピゲノミクス、2)構造生物学、3)プロテオミクス、4)発生工学研究を実施中の被災研究者対象）	http://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/mib/activities_collabo.html.ja		
熊本大学	附属図書館（中央館・医学系分館・薬学部分館）	関東・東北地方の大学に在学中の学生及び入学予定者で、緊急帰省等、震災のために熊本県（近隣）に滞在せざるを得なくなった方を対象に本学学生と同等のサービスを提供する。	http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/news.html#200833	中央館閲覧担当 Tel：096-342-2233、2226 Mail：shiryou@lib.kumamoto-u.ac.jp	
佐賀大学		震災等被災学生へのeラーニングによる講義等の提供	http://www.saga-u.ac.jp/viewnews.php?ui=c2FnYS11MjAwOQ==&fd=bmV3cw==&newsid=179		
		被災された研究者が研究活動を継続していただくため、「佐賀大学客員研究員受入規程」に基づいて、本学の施設・設備等が利用できる客員研究員として受け入れが可能である。	http://www.saga-u.ac.jp/viewnews.php?ui=c2FnYXUyMDEx&fd=Y29tbW9u&newsid=11	学術研究協力部研究協力課（研究協力主担当）	
	附属図書館	図書館の利用	http://www.lib.saga-u.ac.jp/news/ichiran.html#163		
	統合分析実験センター	受託分析の受け入れ(FT-NMR, 粉末X線回折、DNAシークエンス、電子顕微鏡観察、ガンマ線照射等) 研究者による機器の利用 サンプルの保存	http://www.iac.saga-u.ac.jp/	satoum(atmark)cc.saga-u.ac.jp	料金は学内利用料金に準じた形
	総合情報基盤センター	佐賀大学総合情報基盤センター利用者用ネットワークの利用又は教育用端末の利用登録を行う	http://www.cc.saga-u.ac.jp/plan/emergency.php?num=353		
福岡教育大学	附属図書館	図書館の利用	http://www.fukuoka-edu.ac.jp/toshokan/cgi-bin/oshirase.cgi?2011-03-22-0850		
宮崎大学		１．図書館の利用 ２．学生・大学院生の講義履修、勉学支援 ３．研究者の支援について（研究スペースの提供や研究機器の利用等） ４ その他（住居，生活等勉学に関わることなど）	http://www.miyazaki-u.ac.jp/uom/modules/pico19/release/2011/0401information.pdf		

公立大学法人北九州市立大学		東北地方太平洋沖地震に伴う科目等履修生の募集について 北九州市立大学では、東北地方太平洋沖地震により被災された大学生、大学院生を対象に、被災地域の所属大学での学業継続が困難な学生の修学支援を行なうため、科目等履修生として受け入れます。 詳しくは、下記ウェブページをご覧ください。	http://www.kitakyu-u.ac.jp/campus/shien.html	教務課(093-964-4036)担当：外国語学部、経済学部、文学部、法学部、地域創生学群、法学研究科、社会システム研究科(博士前期課程)　管理課教務担当(093-695-3330)担当：国際環境工学部、国際環境工学部研究科	１対象者　東北地方太平洋沖地震にかかる災害救助法適用地域の被災大学生 ２出願期間　平成23年4月4日(月)～平成23年4月28日(木)　〔日曜日を除く〕 ３選考　　書類審査（詳しくは、上記ウェブページをご覧ください） ４授業料の減免　罹災証明書により減免 ５履修制限 (1)履修できるのは、原則として開講科目ですが、一部の科目については履修できない場合があります。 (2)履修できるのは20単位以内です。 ６履修期間　第1学期(4月1日～9月30日)
清泉女子大学		科目等履修生として履修費用の全額免除による受け入れ	http://www.seisen-u.ac.jp/information/001500.html		
近畿大学	中央図書館	1. 被災地域の大学生･教職員の本学中央図書館利用 ･中央図書館の資料閲覧･複写･貸出(冊数: 10冊、期間: 2週間) ･レファレンス調査 ･相互利用サービス ･メールレファレンス 2. 被災地域の図書館への相互利用サービス ･被災された図書館への文献複写及び貸借サービス ･メールレファレンス	http://www.clib.kindai.ac.jp/news-2011.html#support		支援に関する連絡先： ①中央図書館の資料閲覧・複写・貸出 図書総務課・閲覧係 〒577－8502　東大阪市小若江3-4-1 Tel (06)6730－5880（内線2507） Fax (06)6730－2561 E-mail: clib@itp.kindai.ac.jp ②レファレンス調査 レファレンス課（利用相談） Tel:(06)6730-5880（内線2509、2525） Fax (06)6726－2336 E-mail: clib-ill@itp.kindai.ac.jp ③相互利用サービス レファレンス課（相互利用） Tel:(06)6730-5880（内線2510、2511） Fax (06)6726－2336 E-mail: clib-ill@itp.kindai.ac.jp
西南学院大学		被災により所属大学での学業継続が困難な学生を支援するため、本学の2011年度前期授業及び学生寮空室を被災学生に提供する。	http://www.seinan-gu.ac.jp/news/1334.html	総務部秘書課　hojin@seinan-gu.ac.jp	
	法科大学院	2011年5月に実施される新司法試験を受験する予定の被災者を対象に、図書館利用の便宜を提供する。	http://www.seinan-gu.ac.jp/es-law/news/news110325_hisaisyaukeire.html	大学院課法科大学院事務室 es-law@seinan-gu.ac.jp	希望者多数の場合には、人数制限を行うことがある。
	図書館	東北・関東大震災で被災した大学に在学（または入学予定）の学生で、緊急帰省などの理由で近郊に滞在している方に、特別利用者と同じサービスを提供する。	http://www.seinan-gu.ac.jp/library/news/temp.html	図書館閲覧係　lib-srv@seinan-gu.ac.jp	
自然科学研究機構・分子科学研究所		随時受付の特別枠（旅費滞在費支給基準を特別に設定）での共同研究に対応します。院生の場合は特別共同利用研究員（受託学生）として随時受入も可能です。長期にわたる宿舎、研究室、実験室、設備等の借用も対応可能な場合があります。	http://www.ims.ac.jp/whatsnew/2010/110317.html		各共同利用施設窓口、及び、所内の各教授・准教授にご相談下さい。適当な窓口が見あたらない場合には、共同研究専門委員会委員長の青野重利(Tel: 0564-59-5575, E-mail: aono@ims.ac.jp)までご相談ください。
基礎生物学研究所		「緊急の個別共同利用研究」の募集・・・研究室が被災し、研究の遂行に支障をきたした研究者（大学院生を含む＊）に、基礎生物学研究所にて研究の場を提供 他大学の大学院生を一定期間受け入れ研究指導を行う「特別共同利用研究員」制度や他機関の研究者が基礎生物学研究所に滞在して研究を行う「特別訪問研究員」制度の活用	http://www.nibb.ac.jp/support/		
国立天文台		共同利用宿泊施設（コスモス会館）や研究室の利用	http://www.nao.ac.jp/		
生理学研究所		共同利用研究特別プロジェクト（被災地域大学・研究機関研究者支援）	http://www.nips.ac.jp/contents/release/entry/2011/03/post-160.html		
国立遺伝学研究所		【緊急共同利用・共同研究】 研究室が被災し、研究遂行が困難になった研究者・学生を国立遺伝学研究所に受け入れ、研究の場を提供します。	http://www.nig.ac.jp/welcome/kyoudoukenkyu/11/kinkyu.pdf		

理化学研究所	発生・再生科学総合研究センター	関連学会や他機関との連携も取りながら、大学院生・研究者の一時的受入を含めた滞在型研究支援や、研究試料の保管・提供などの協力を検討 相談のための窓口を開設	http://www.cdb.riken.jp/jp/ourmessage.html		
	分子イメージング科学研究センター	被災された大学・研究機関の皆様に、研究活動において何らかのサポートを検討 個別に連絡・相談	http://www.cmis.riken.jp/message.html		
	オミックス基盤研究領域	被災地で学ばれている学生を「実習生」として受け入れ	http://www.osc.riken.jp/comment/index03.html		
	免疫・アレルギー科学総合研究センター	研究試料や研究用マウスの分与、会議参加希望の大学院生・研究者の受入れなどの協力を検討 独マックスプランク研究所、米国国立衛生研究所（NIH）、米国ラホヤ免疫・アレルギー科学研究所（LIAI）等と連携して支援	http://www.rcai.riken.jp/comment/		
医薬基盤研究所(NIBIO)		細胞、ヒト由来DNA・血清等、及びマウス凍結胚・精子の「保護預かり」を平成２４年３月末まで「無料」に	http://www.nibio.go.jp/news/2011/03/000137.html		
重イオン研究センター/GSI Helmholtzzentrum für Schwerionenforschung GmbH（ドイツ・ダルムシュタット市、ヘルムホルツ協会傘下）	全GSI研究グループで検討中	大学院学生（修士・博士）・ポスドクの研究の場を提供。 エンジニア・テクニシャンについても問い合わせを受け付ける。 財政面では、収入がGSIの学生・ポスドクの基準にあうようにする。	http://www.gsi.de/portrait/index.html	杉田　圭　k.sugita@gsi.de （GSI・加速器部門マグネットグループ)	現在、おおよその希望者の数を確認するため、 関心のある学生・ポスドクからのメールを受け付けています。 お気軽にお問い合わせください。 4月11日からの週に「GSIで研究可能な課題一覧」とともに、 具体的な手順等をお知らせする予定です。 物理研究分野だけでなく、FAIRプロジェクト （http://www.gsi.de/portrait/fair_e.html） のための研究開発を抱える加速器部門でも課題を検討しています。 理学系だけでなく、工学系の皆さんにもお知らせいただければ幸いです。
日本科学ネットワーク（ドイツ・ポータルサイト）		被災した研究者・学生等を対象に、ドイツで現在入手可能な基金や現行の交換プロジェクト、またはドイツ内での外国人学生、及び研究者対象の空きポスト等を包括したデータベース	http://www.nipponsciencesupport.net/		
NIH Japanese Scientists Association		1. Provide positions/lab accommodations for those who wish to come to NIH to work (for either a short or a long stay, in order to continue urgent ongoing experiments). 2. Supply necessary research materials and laboratory animals. 3. Supply other necessary equipment.	http://nihjsa.org/minasama.html	NJSANIH@gmail.com または info@nihjsa.org	

※2011年4月7日現在の集計途中のデータです。
追加情報をお待ちしています。以下のウェブページよりご入力ください。
http://tinyurl.com/3uqkj2o